

4-1 [小学生の習い事]

男女とも「スポーツ」がもっとも多い

小学生の習い事を性別にみると、男子は「スポーツ」が70.3%ともっとも多く、1990年から常に1位であるが、1990年と比較すると13.1ポイント増えている。女子も「スポーツ」が42.0%でもっとも多いが、前回2006年までは「音楽」が1位であったのが、今回逆転している。一方、1990年から減少幅が大きいのが「習字」で、男子で22.7%（1990年）→10.0%（2015年）に、女子で40.5%→20.2%に減少している。

表4-1 小学生の習い事（性別）

		1990年		1996年		2001年		2006年		2015年		90年からの 変化
男子	1位	スポーツ 水泳、剣道、柔道、体操、 野球、サッカーなど	57.2	スポーツ 水泳、剣道、柔道、体操、 野球、サッカーなど	56.4	スポーツ 水泳、剣道、柔道、体操、 野球、サッカーなど	60.7	スポーツ 水泳、剣道、柔道、体操、 野球、サッカーなど	65.4	スポーツ 水泳、剣道、柔道、体操、 野球、サッカーなど	70.3	13.1up ↑
	2位	習字	22.7	習字	22.9	習字	15.3	英語	14.4	英語	13.5	
	3位	そろばん	15.5	英語	12.9	英語	14.8	習字	11.5	習字	10.0	12.7down ↓
	4位	英語	12.8	そろばん	12.2	音楽 ピアノ、バイオリン、 エレクトーンなど	10.5	音楽 ピアノ、バイオリン、 エレクトーンなど	9.7	音楽 ピアノ、バイオリン、 エレクトーンなど	9.9	
	5位	音楽 ピアノ、バイオリン、 エレクトーンなど	9.6	音楽 ピアノ、バイオリン、 エレクトーンなど	10.2	そろばん	8.3	そろばん	6.2	そろばん	7.9	
	6位	絵	2.0	絵	1.7	絵	1.6	バレエ、ダンス 絵	1.1	バレエ、ダンス	1.6	
	7位					バレエ、ダンス	0.7			絵	1.5	
		何もしていない	19.0	何もしていない	14.8	何もしていない	17.2	何もしていない	18.8	何もしていない	16.3	
女子	1位	音楽 ピアノ、バイオリン、 エレクトーンなど	45.3	音楽 ピアノ、バイオリン、 エレクトーンなど	40.5	音楽 ピアノ、バイオリン、 エレクトーンなど	41.5	音楽 ピアノ、バイオリン、 エレクトーンなど	36.7	スポーツ 水泳、剣道、柔道、体操、 野球、サッカーなど	42.0	12.8up ↑
	2位	習字	40.5	習字	36.0	スポーツ 水泳、剣道、柔道、体操、 野球、サッカーなど	33.0	スポーツ 水泳、剣道、柔道、体操、 野球、サッカーなど	36.3	音楽 ピアノ、バイオリン、 エレクトーンなど	32.5	12.8down ↓
	3位	スポーツ 水泳、剣道、柔道、体操、 野球、サッカーなど	29.2	スポーツ 水泳、剣道、柔道、体操、 野球、サッカーなど	26.6	習字	29.5	習字	21.0	英語	20.3	
	4位	そろばん	19.5	英語	17.2	英語	19.3	英語	16.6	習字	20.2	20.3down ↓
	5位	英語	13.6	そろばん	14.7	そろばん	9.4	バレエ、ダンス	11.3	バレエ、ダンス	15.2	
	6位	絵	2.1	絵	2.6	バレエ、ダンス	7.0	そろばん	8.0	そろばん	9.3	10.2down ↓
	7位					絵	3.6	絵	2.1	絵	2.9	
		何もしていない	14.3	何もしていない	15.8	何もしていない	14.1	何もしていない	18.7	何もしていない	18.6	

注1) 複数回答。 注2) 「その他」は省略している。 注3) 「バレエ、ダンス」は1990年、1996年はたずねていない。

4-2 [中学受験]

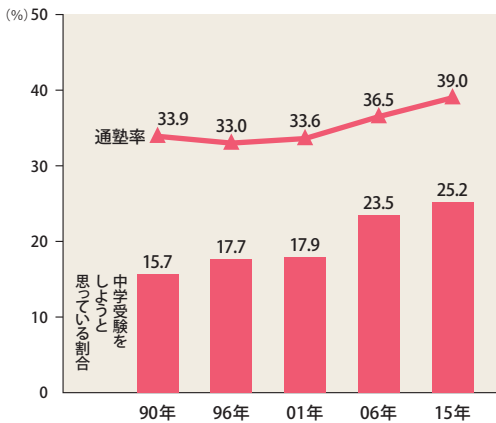
東京で公立中高一貫校受験希望者が増え、私立中学校受験希望者が減少

小学5年生の夏休み前の時点で、中学受験を決めているのは25.2%で、前回から大きな変化はない。通塾率も前回比でほぼ横ばいである(図4-1)。受験を決めている人に対して、希望する学校の種類をたずねたところ、私立中学校が47.0%でもっとも多いが、公立中高一貫校の比率が増えており、東京だけを見ると、私立中学校の希望者が前回比で10.5ポイント減少、公立中高一貫校が14.1ポイント増加している。また、受験を決めている人の学習時間をみると、35.5%が平日に3時間以上勉強している(図4-3)。

Q1 あなたは、どこかの中学校(私立中学校や大学の附属中学校、中高一貫校など)を受験しようと思っていますか。

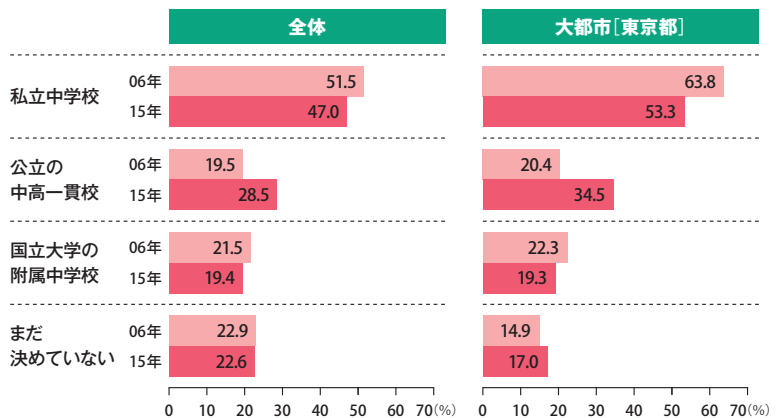
Q2 (「はい」と答えた人におききします。) どのような中学校を受験しようと思っていますか。

図4-1 中学受験の希望と通塾率(小学生)



注)「通塾率」は、「あなたは今、学習塾に行っていますか」という質問に対し、「行っている」と答えた人の割合。

図4-2 受験を希望する学校(小学生[受験希望者のみ])

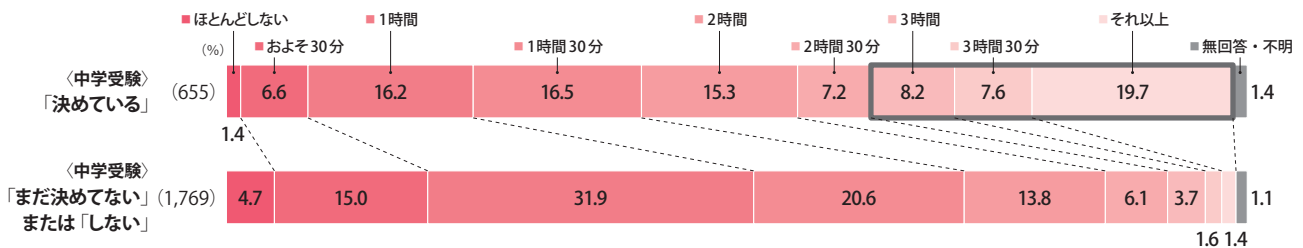


注1) 複数回答。

注2) 対象は「どこかの中学校を受験しようと思っていますか」という質問に「はい」と回答した人。全体06年641名、15年655名、大都市06年417名、15年441名。

Q あなたはふだん(月曜日～金曜日)、学校での授業以外に1日にだいたい何時間くらい勉強していますか。学習塾や予備校、家庭教師について勉強する時間も含めてください。

図4-3 平日の学校外の学習時間(小学生、中学受験希望の有無別)



注)「決めている」は「どこかの中学校を受験しようと思っていますか」という質問に「はい」と回答した人、「しない」は「いいえ」と回答した人を表す。

4-3 [大学入試]

「推薦・AO入試」を希望する高校生が減っている

四年制大学への進学希望者に、入試方法の希望をたずねたところ、「推薦・AO入試」の希望が1996年からずっと4割程度で推移していたのが、今回調査では28.7%に減り、その分、「一般入試」の希望が増えた。高校の偏差値帯別にみると、どの層においても「推薦・AO入試」は減少傾向にあり、特に45以上の層ではいずれも10ポイント以上減っている。

Q

大学へ進学する方法には、大きく分けて「推薦入試やAO入試」と「一般入試」の2つの方法があります。あなたは、どちらの方法で進学したいですか。

図4-4 大学入試方法の希望（高校生[大学進学希望者のみ]）

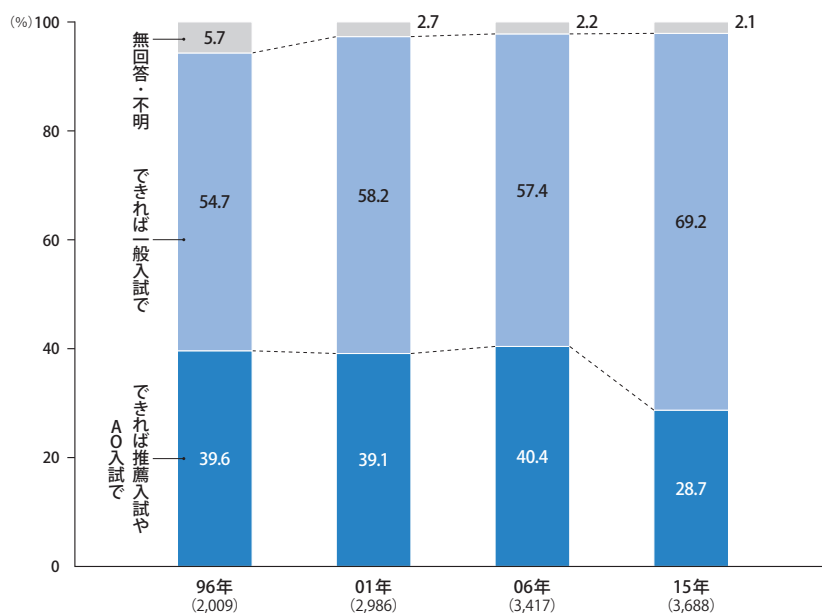
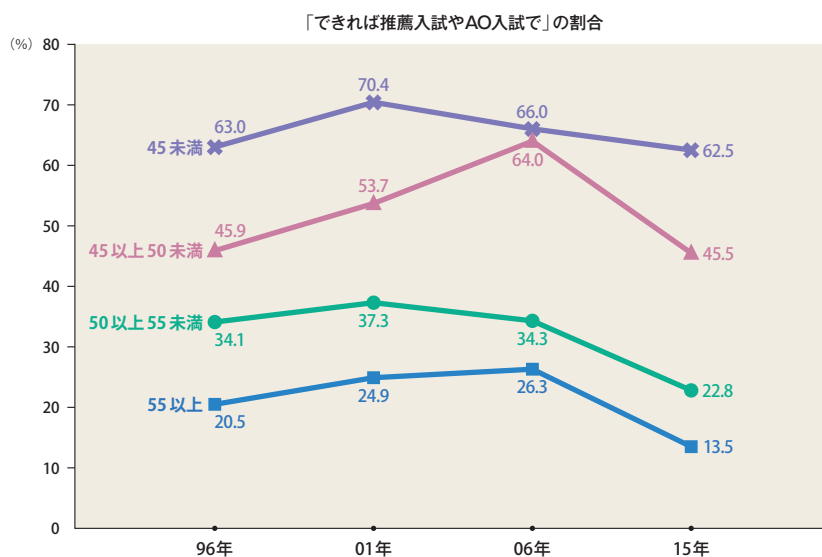


図4-5 大学入試方法「推薦・AO入試」を希望する割合（高校生[大学進学希望者のみ]、学校偏差値帯別）



注1) 対象は大学進学希望者のみ。大学進学希望者は「あなたは将来、どの学校まで進みたいですか」との質問に対し、「四年制大学まで」「大学院まで」と回答した人。大学進学希望者の割合は、96年76.9%、01年78.4%、06年76.6%、15年83.3%。()内の数値はサンプル数。
 注2) 「できれば推薦入試やAO入試で」は、96年は「できれば推薦で」、01年は「できれば推薦(AO入試)で」としてたずねている。
 注3) 90年はたずねていない。